

プロフィットケア

介助ブレーキ組み立て説明書

- 座位保持自走型 ラクリオ PR-1000
- 座位保持ティルトリクライニング ラクレスト PR-2000



1. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、ご使用者および他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を危害や損害の大きさと危険の程度によって「警告」「注意」「禁止」「指示」に区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みになり、必ず守ってください。

<p>警告</p> <p>誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。</p>	<p>注意</p> <p>誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。物的損害とは、家屋・家財およびペットに関わる拡大損害を意味します。</p>	<p>禁止 製品使用上、禁止とする行為を示します。</p> <p>指示 製品使用上、必ず行っていただきたい行為を示します。</p>
---	--	---

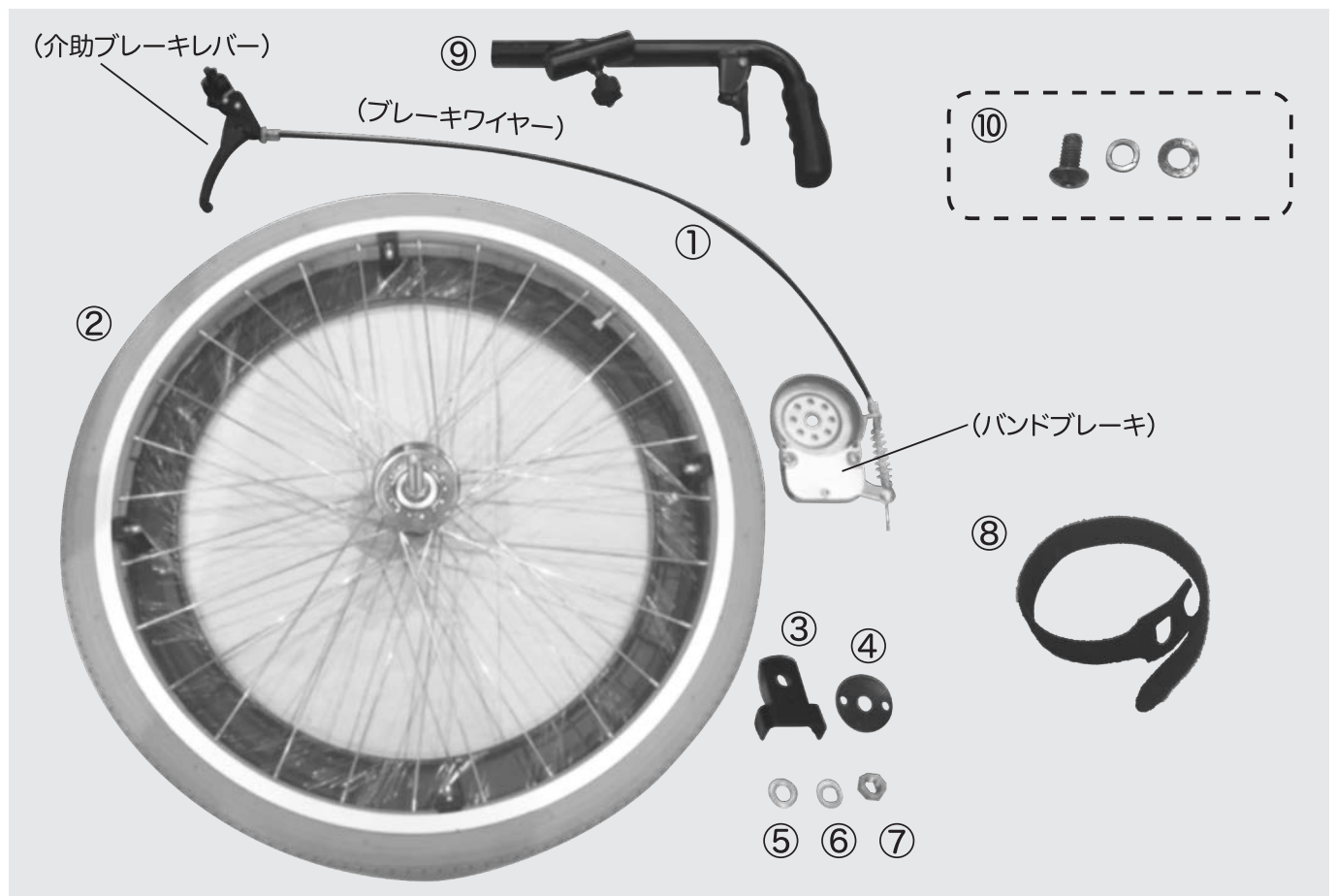
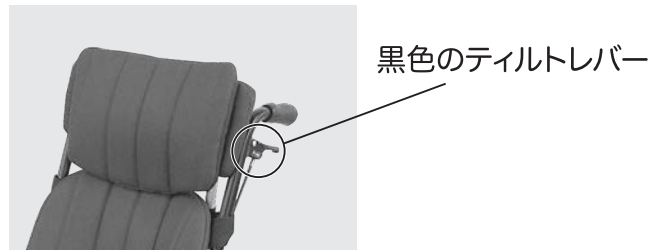
警告	
<p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● フレームの切断・穴あけ・溶接等の改造に伴う加工を行わないでください。 ● 部品の改造、組換えは強度低下などにつながり危険ですので行わないでください。
<p>指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 作業は適切な工具を使用してください。怪我や整備不良、車いす・部品の破損原因となります。 ● ボルト等の締付けは指定のトルクで行ってください。締めけトルク不足は部品が緩み、事故や破損原因となります。 ● 部品交換は指定部品をご使用ください。指定外部品を使用した場合、正しく機能せず、事故等につながる恐れがあります。 ● 作業時、軍手等を着用し、安全に配慮してください。

注意	
<p>指示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本組み立て説明書を必ず、お読みください。 ● 本組み立て説明書に記載以外の方法で作組み立てた場合は責任を負いかねます。 ● ご使用前に必ず試乗し、正常な動作確認を行ってください。 ● ボルト・ナット等は時計回り方向へ回すと締め、反時計回り方向へ回すと緩みます。

2. 同梱物

ラクリオ用介助ブレーキ Aセット

ラクリオ用介助ブレーキ「Aセット」は、製品に装着されているティルトレバーが「黒色」の製品専用で、付属の延長介助ハンドルへの交換が必要です。



【同梱内訳】

①	介助ブレーキセット	2セット
②	介助ブレーキ ドラム付きタイヤ	2本
③	取り付け用ブラケット	2個
④	取り付け用スペーサー	2個
⑤	ワッシャー	2個
⑥	スプリングワッシャー	2個
⑦	ナット	2個
⑧	結束バンド	4本
⑨	延長介助ハンドル	左右各1本
⑩	介助ハンドル固定ネジセット	8セット

【ラクリオ用介助ブレーキ Aセット 組み立て方法】

介助ブレーキセットを本体フレームへ取り付けます。

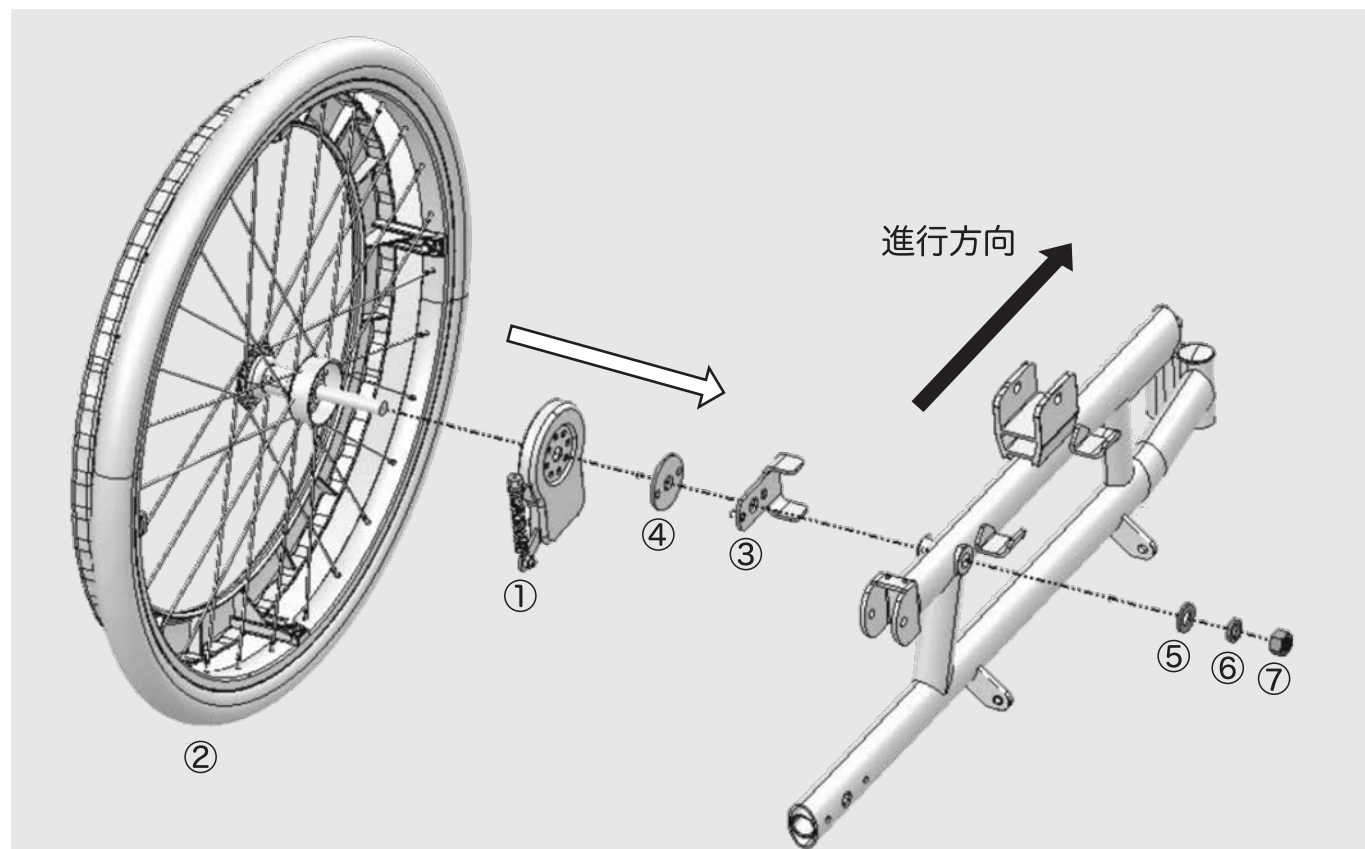
この作業は左右共通です。

1. 車軸及びナットを緩め、タイヤを取り外します。

•使用工具：19mmスパナ、ラチェットレンチなど工具2本

2. 下イラストのように構成部品を本体フレームへ仮組付けします。

(下図は左側)



①	介助ブレーキセット
②	介助ブレーキ ドラム付きタイヤ
③	取り付け用ブラケット
④	取り付け用スペーサー
⑤	ワッシャー
⑥	スプリングワッシャー
⑦	ナット

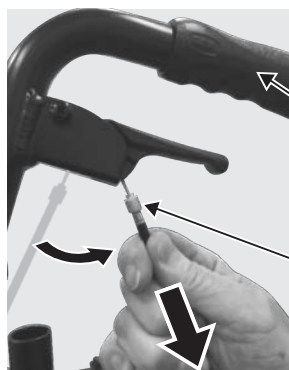
3. ボルト及びナットを締め付け固定します。

- 使用工具：19mmスパナ、ラチェットレンチなど
工具2本
- 推奨締め付けトルク：25Nm

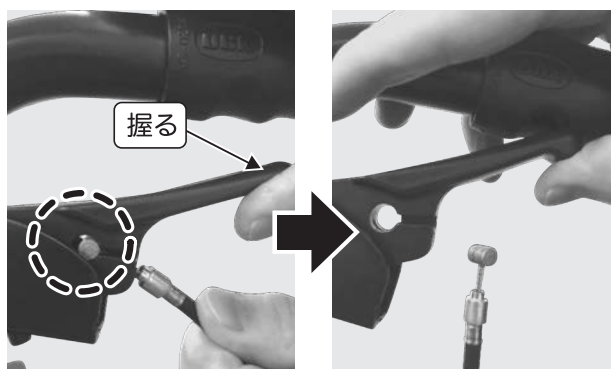


4. 介助ハンドルを交換します。

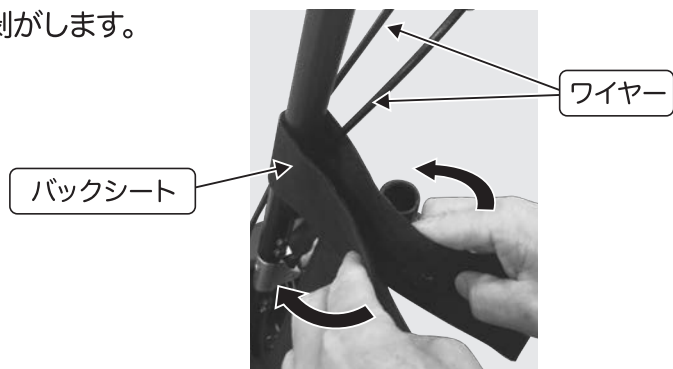
ティルトレバーに取り付けられているワイヤーを下方に引きながら、手前方向へ寄せます。



5. ティルトレバーを握りながら、ワイヤー及びワイヤーエンド (タイコ) をガイド溝から取り外します。

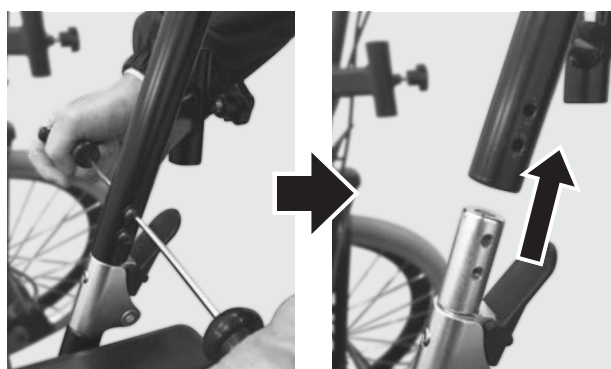


6. バックシートの上段面ファスナーを剥がします。



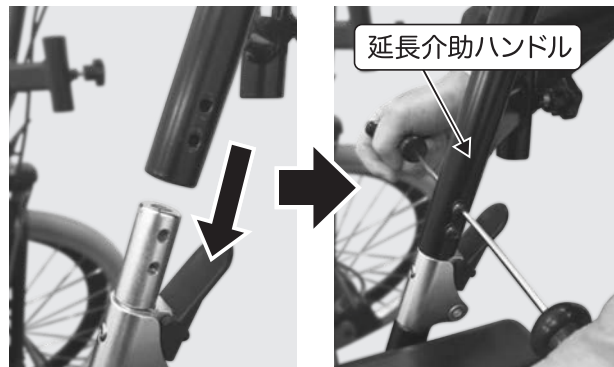
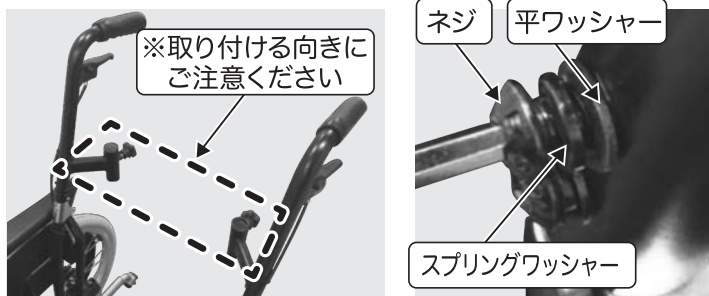
7. 介助ハンドル固定ネジを緩め、介助ハンドルを取り外します。

- 使用工具：4mm六角レンチなど工具2本



8. 延長介助ハンドルを取り付け、
介助ハンドル固定ネジで締め切り固定します。

- 使用工具：4mm六角レンチなど工具2本
- 使用ネジ：介助ハンドル固定ネジセット

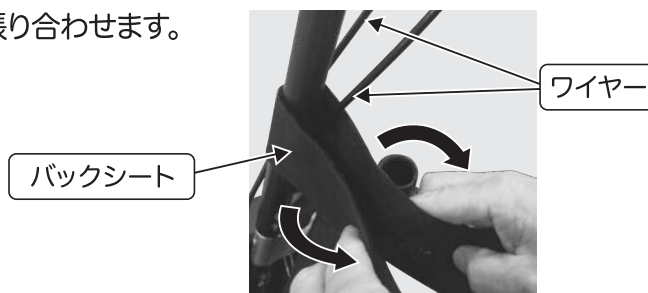


9. 介助ブレーキレバー（黒色）を本体フレームへ組付けします。前後位置はグリップ前端に触れる程度、向きは後方から見て内側へ約30度とします。

- 使用工具：プラスドライバー



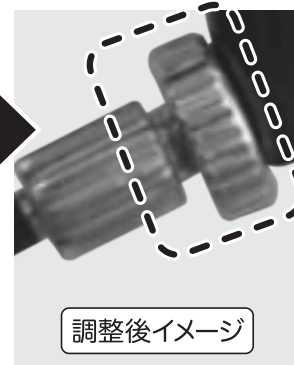
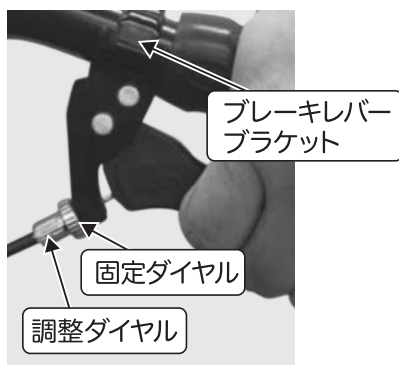
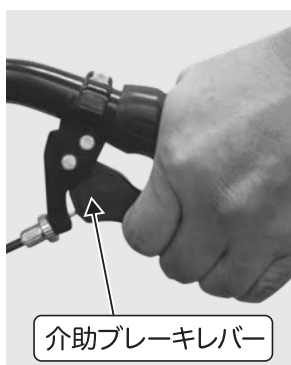
10. バックシート上段の面ファスナーを張り合わせます。



11. 製品本体を押しながら、介助ブレーキレバーを握り、左右の介助ブレーキが正常に動作することを確認してください。

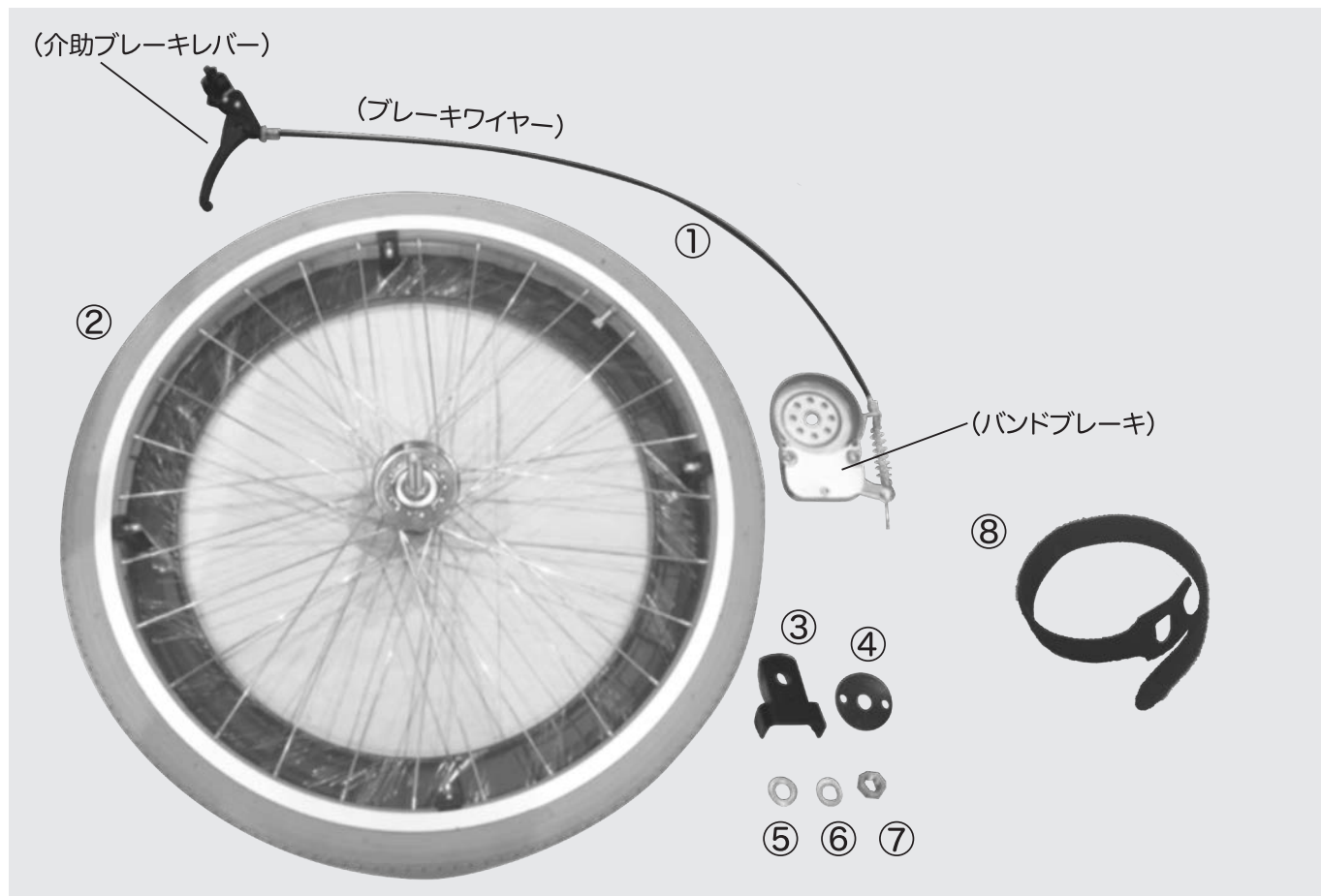
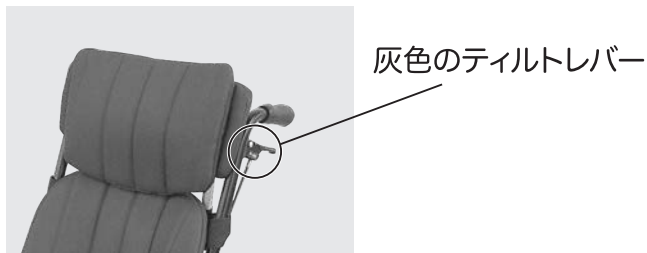
※万が一、ブレーキの効きが不足している場合は、介助ブレーキレバー手元のダイヤルにより、調整が可能です。

- (1)固定ダイヤルを緩める。
- (2)調整ダイヤルを緩めながら、介助ブレーキレバーの握りシロを確認する。
- (3)ブレーキの効きを確認したら、固定ダイヤルをブレーキレバーブラケット側へ締め切り固定する。



ラクリオ用介助ブレーキ Bセット

ラクリオ用介助ブレーキ「Bセット」は、製品に装着されているティルトレバーが「灰色」の製品専用です。



【同梱内訳】

①	介助ブレーキセット	2セット
②	介助ブレーキ ドラム付きタイヤ	2本
③	取り付け用ブラケット	2個
④	取り付け用スペーサー	2個
⑤	ワッシャー	2個
⑥	スプリングワッシャー	2個
⑦	ナット	2個
⑧	結束バンド	4本

【ラクリオ用介助ブレーキ Bセット 組み立て方法】

介助ブレーキセットを本体フレームへ取り付けます。

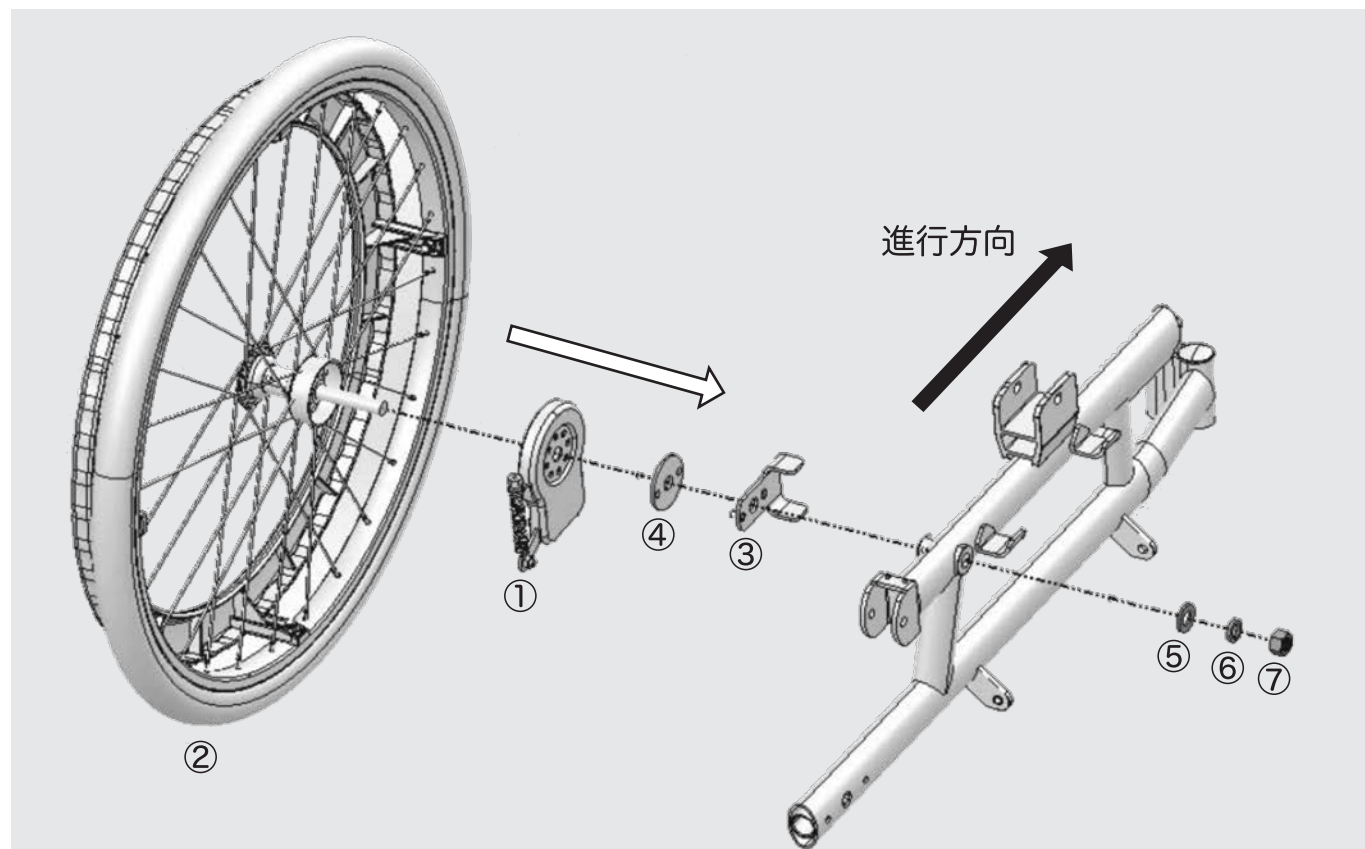
この作業は左右共通です。

1. 車軸及びナットを緩め、タイヤを取り外します。

•使用工具：19mmスパナ、ラチェットレンチなど工具2本

2. 下イラストのように構成部品を本体フレームへ仮組付けします。

(下図は左側)



①	介助ブレーキセット
②	介助ブレーキ ドラム付きタイヤ
③	取り付け用ブラケット
④	取り付け用スペーサー
⑤	ワッシャー
⑥	スプリングワッシャー
⑦	ナット

3. ボルト及びナットを締め付け固定します。

- 使用工具：19mmスパナ、ラチェットレンチなど
工具2本
- 推奨締め付けトルク：25Nm



4. 介助ブレーキレバー（黒色）を本体フレームへ組付けします。前後位置はグリップ前端に触れる程度、向きは後方から見て内側へ約30度とします。

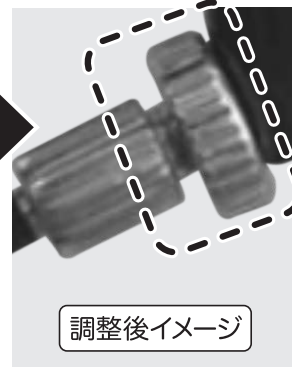
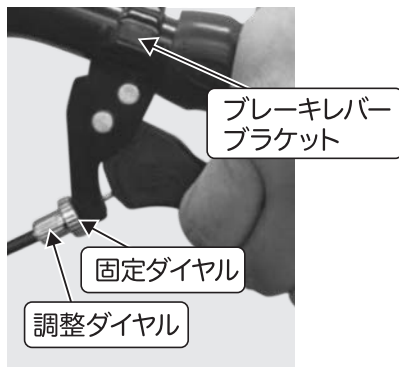
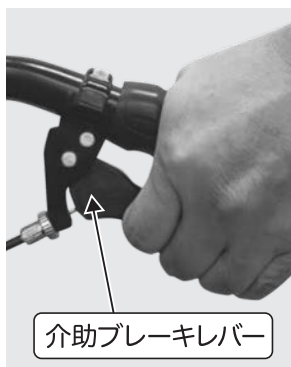
- 使用工具：プラスドライバー



5. 製品本体を押しながら、介助ブレーキレバーを握り、左右の介助ブレーキが正常に動作することを確認してください。

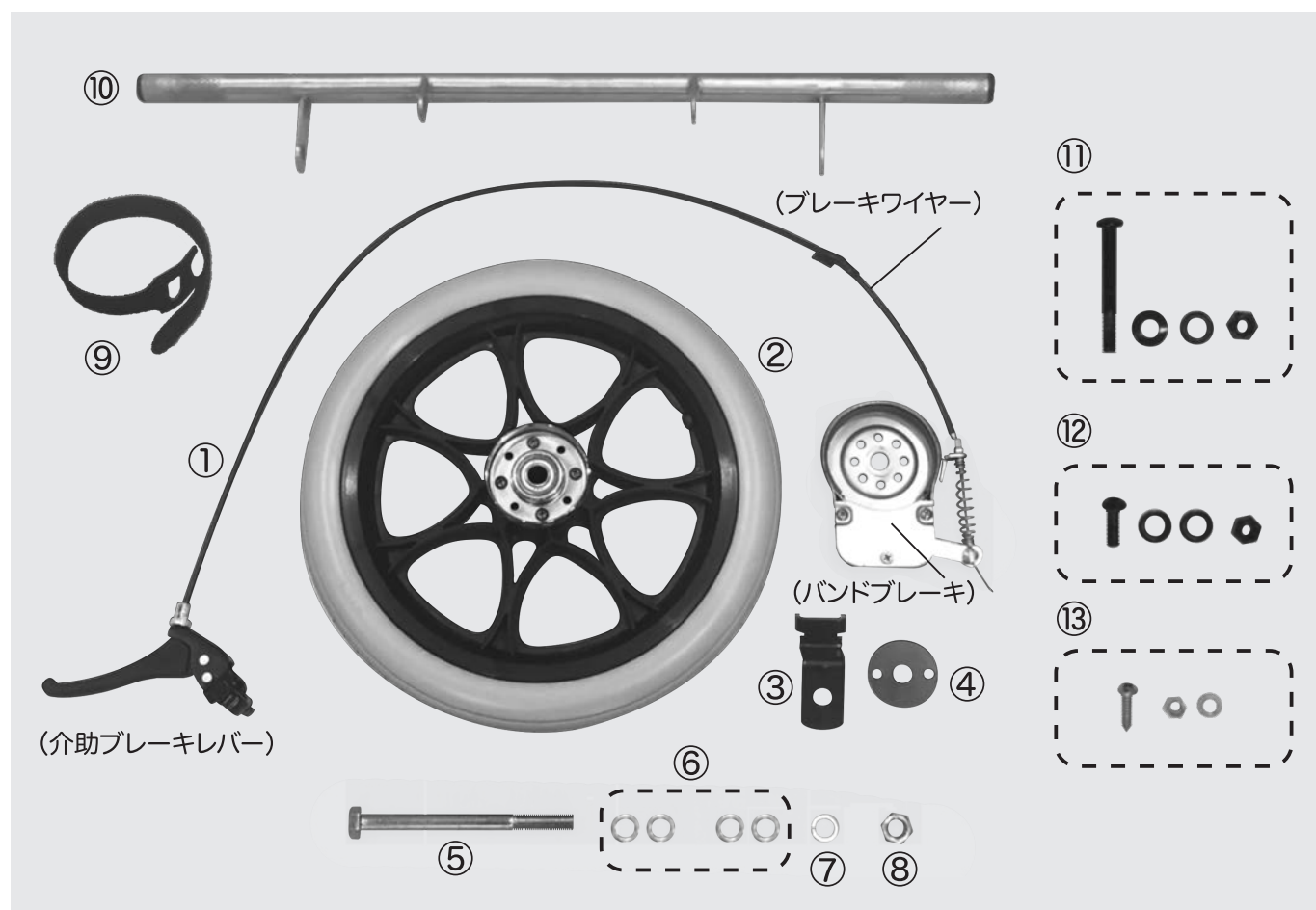
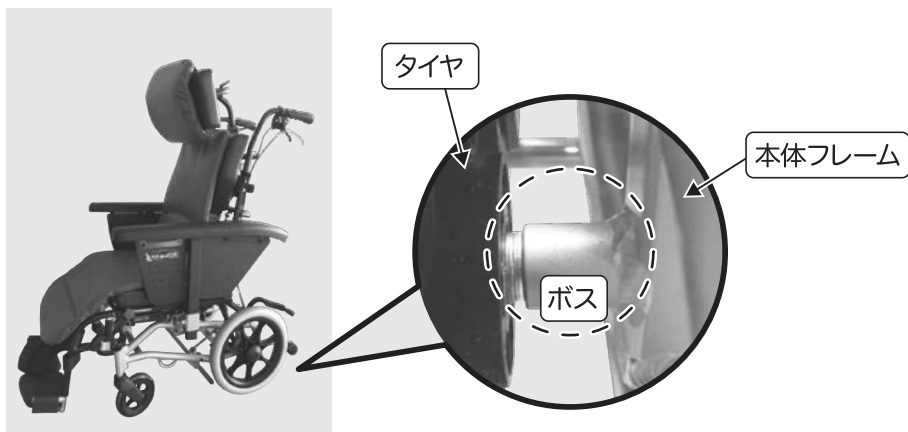
※万が一、ブレーキの効きが不足している場合は、介助ブレーキレバー手元のダイヤルにより、調整が可能です。

- (1)固定ダイヤルを緩める。
- (2)調整ダイヤルを緩めながら、介助ブレーキレバーの握りシロを確認する。
- (3)ブレーキの効きを確認したら、固定ダイヤルをブレーキレバーブラケット側へ締め切り固定する。



ラクレスト用介助ブレーキ Aセット

本体フレームのタイヤ受け部がボス仕様のフレーム専用で、付属の延長駐車ブレーキ棒への交換が必要です。



【同梱内訳】

①	介助ブレーキセット	2セット	⑧	ナット	2個
②	介助ブレーキ ドラム付きタイヤ	2本	⑨	結束バンド	4本
③	取り付け用ブラケット	2個	⑩	延長駐車ブレーキ棒	1本
④	取り付け用スペーサー	2個	⑪	延長駐車ブレーキ棒固定ネジセットa	2セット
⑤	延長車軸	2本	⑫	延長駐車ブレーキ棒固定ネジセットb	2セット
⑥	ワッシャー	8個	⑬	延長駐車ブレーキ棒スプリング固定ネジセット	2セット
⑦	スプリングワッシャー	2個			

【ラクレスト用介助ブレーキ Aセット 組み立て方法】

介助ブレーキセットを本体フレームへ取り付けます。

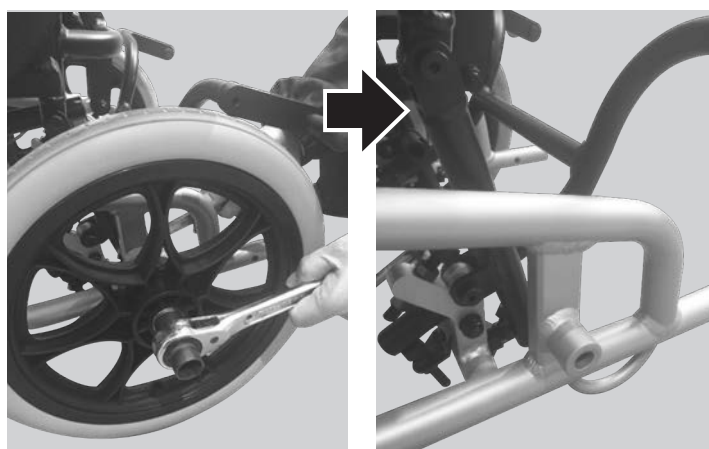
この作業は左右共通です。

1. キャップを反時計回り方向に回し、取り外します。

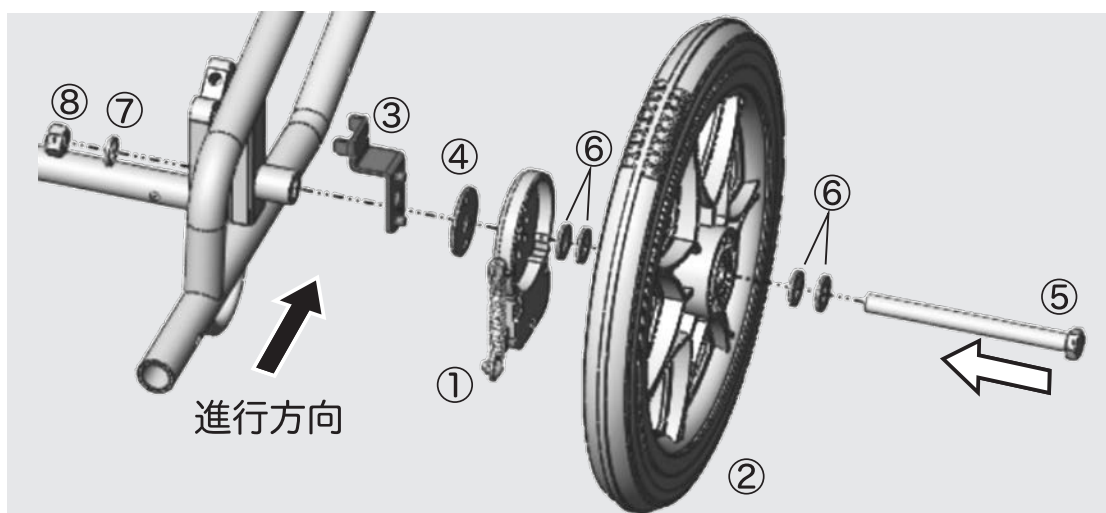


2. 車軸及びナットを緩め、タイヤを取り外します。

- 使用工具：19mmスパナ、ラチェットレンチなど工具2本



3. 下イラストのように構成部品を本体フレームへ仮組付けします。(下図は右側)



【同梱内訳】

①	介助ブレーキセット	⑤	延長車軸
②	介助ブレーキ ドラム付きタイヤ	⑥	ワッシャー
③	取り付け用ブラケット	⑦	スプリングワッシャー
④	取り付け用スペーサー	⑧	ナット

4. ボルト及びナットを締め付け固定します。

- 使用工具：19mmスパナ、ラチェットレンチなど工具2本
- 推奨締め付けトルク：25Nm



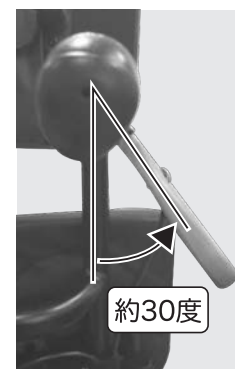
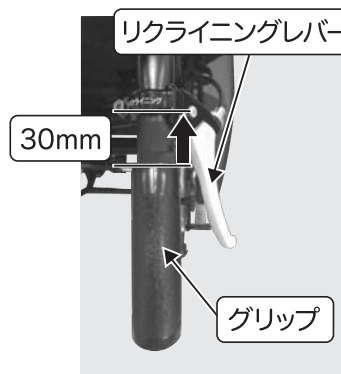
5. キャップを時計回り方向に回し、取り付けます。



6. 介助ハンドル右側のリクライニングレバー（グレー色）の位置を移動、再固定します。

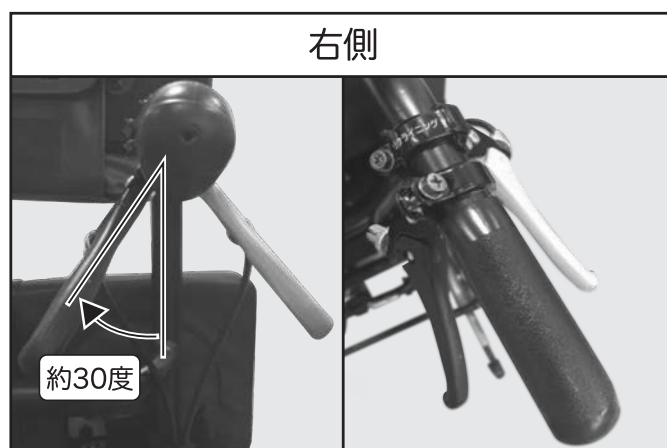
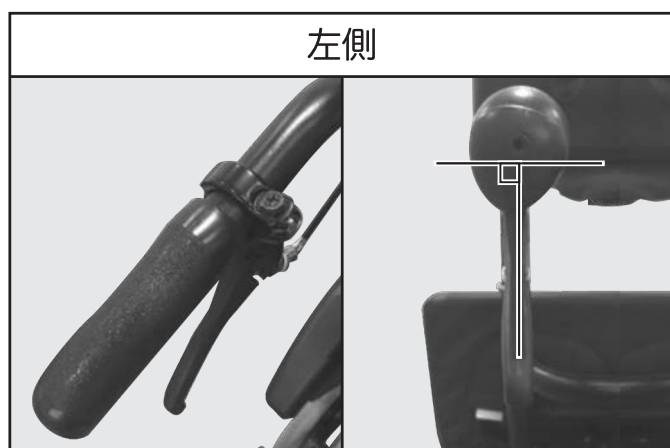
位置はグリップ前端から30mm、向きは後方から見て外側へ約30度とします。

- 使用工具：プラスドライバー



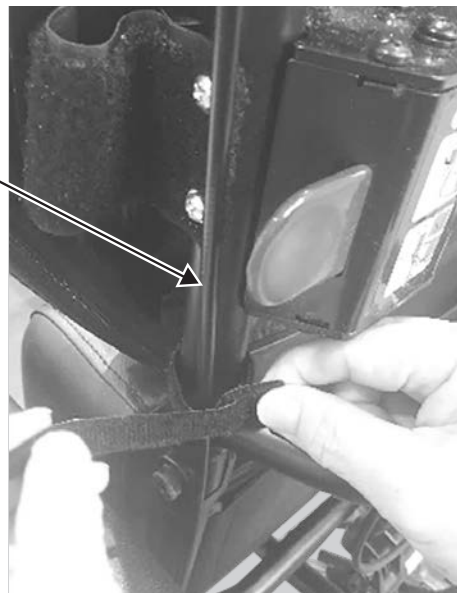
7. 介助ブレーキレバー（黒色）を本体フレームへ組付けします。

前後位置はグリップ前端に触れる程度、向きは後方から見て右側のブレーキレバーは内側へ約30度、左側のブレーキレバーは地面に対し直角とします。



8. 結束バンドを使いブレーキワイヤーを本体フレームに固定します。

ブレーキワイヤー



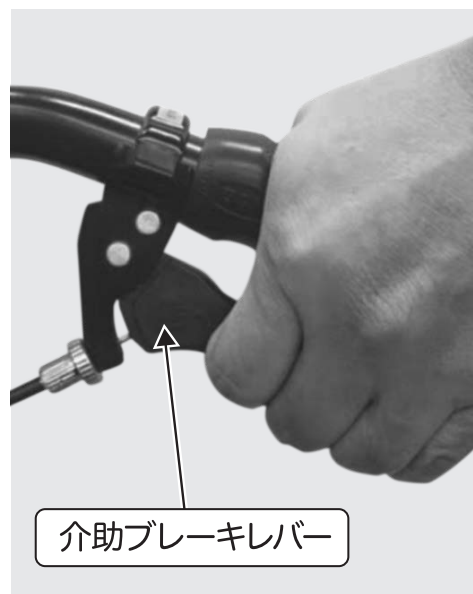
9. 製品本体を押しながら、介助ブレーキレバーを握り、左右の介助ブレーキが正常に動作することを確認してください。

※万が一、ブレーキの効きが不足している場合は、介助ブレーキレバー手元のダイヤルにより、調整が可能です。

(1) 固定ダイヤルを緩める。

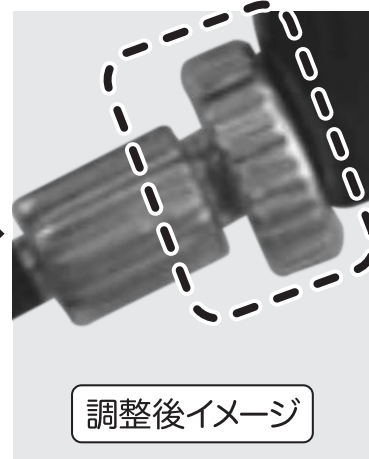
(2) 調整ダイヤルを緩めながら、介助ブレーキレバーの握りシロを確認する。

(3) ブレーキの効きを確認したら、固定ダイヤルをブレーキレバーブラケット側へ締め切り固定する。



ブレーキレバーブラケット

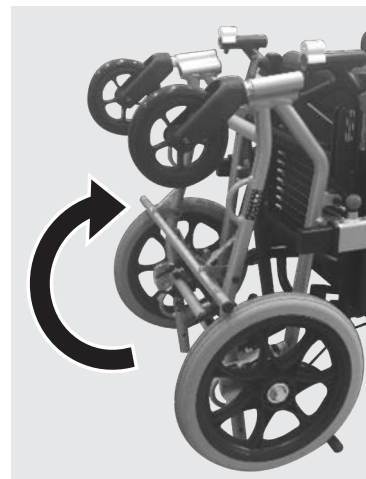
介助ブレーキレバー



延長駐車ブレーキ棒に交換します。

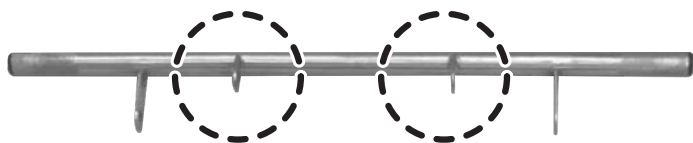
※延長駐車ブレーキ棒に交換しないとタイヤへのかかりシロが不足し、十分な駐車ブレーキ力を得られませんので、必ず交換してください。

1. 交換作業をし易いように車いす本体を倒します。

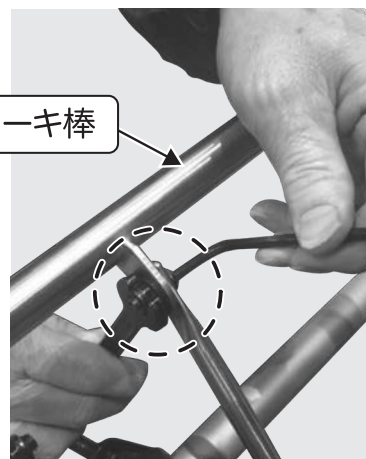


2. 駐車ブレーキ棒内側のボルト、ナットを取り外します。(左右2か所)

•使用工具：10mmスパナ、4mm六角レンチ



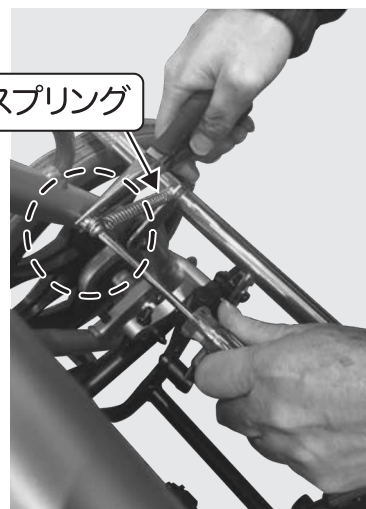
駐車ブレーキ棒



3. 本体フレーム側のスプリング取り付け部をラジオペンチでしっかり掴み、ねじを取り外します。(左右2か所)

•使用工具：ラジオペンチ、プラスドライバー

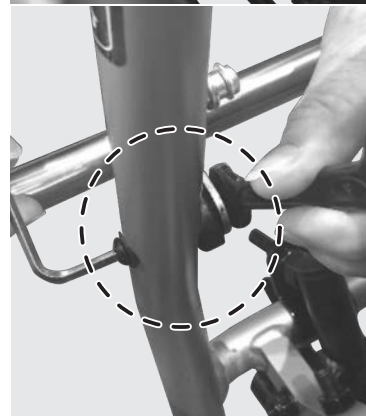
スプリング



※スプリングの反発力に注意しながら作業してください。

4. 駐車ブレーキ棒外側のボルト、ナットを取り外します。(左右2か所)

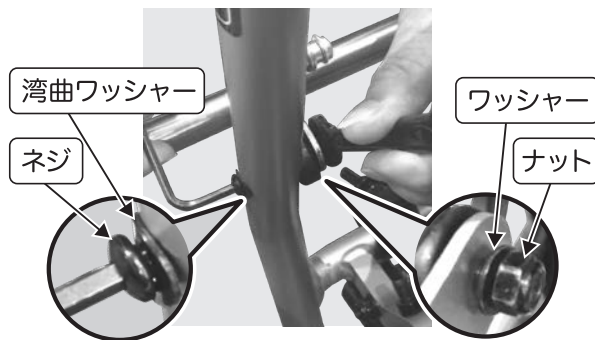
•使用工具：10mmスパナ、4mm六角レンチ



5. 駐車ブレーキ棒を延長駐車ブレーキ棒に交換します。

6. 延長駐車ブレーキ棒外側のボルト、ナットを取り付け固定します。(左右2か所)

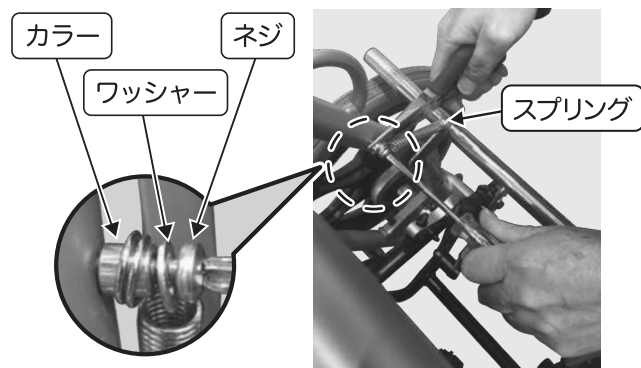
- 使用工具：10mmスパナ、4mm六角レンチ
- 使用ネジ：駐車ブレーキバー固定ネジセットa



7. 本体フレーム側のスプリング取り付け部をラジオペンチでしっかり掴み、ねじを取り付けます。(左右2か所)

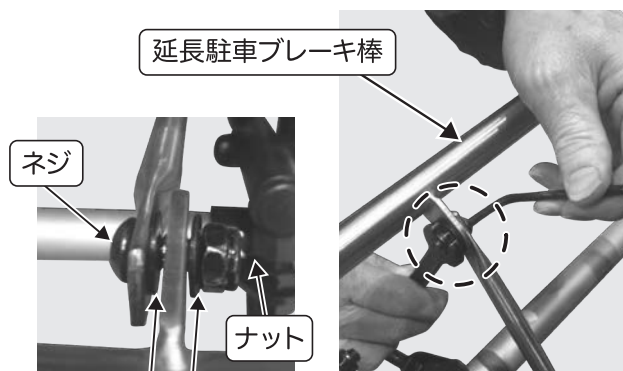
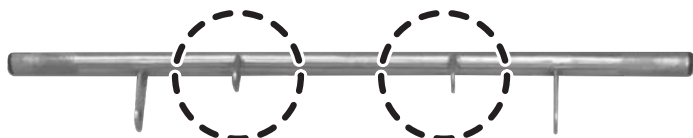
- 使用工具：ラジオペンチ、プラスドライバー
- 駐車ブレーキバー springs 固定ネジセット


※スプリングの反発力に注意しながら作業してください。



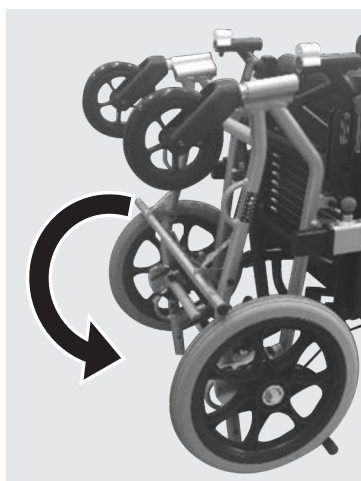
8. 延長駐車ブレーキ棒内側のボルト、ナットを取り付け固定します。(左右2か所)

- 使用工具：10mmスパナ、4mm六角レンチ
- 使用ネジ：駐車ブレーキバー固定ネジセットb



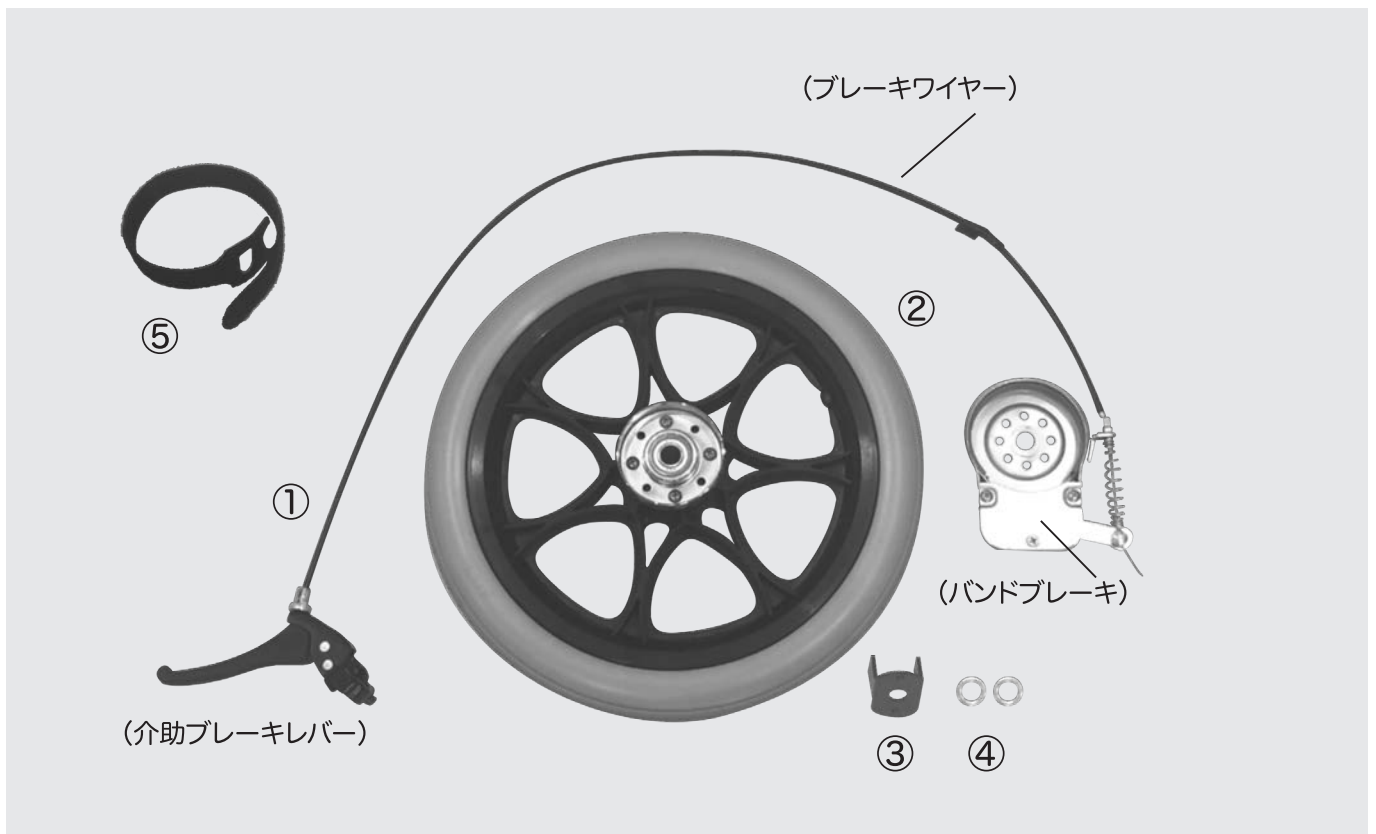
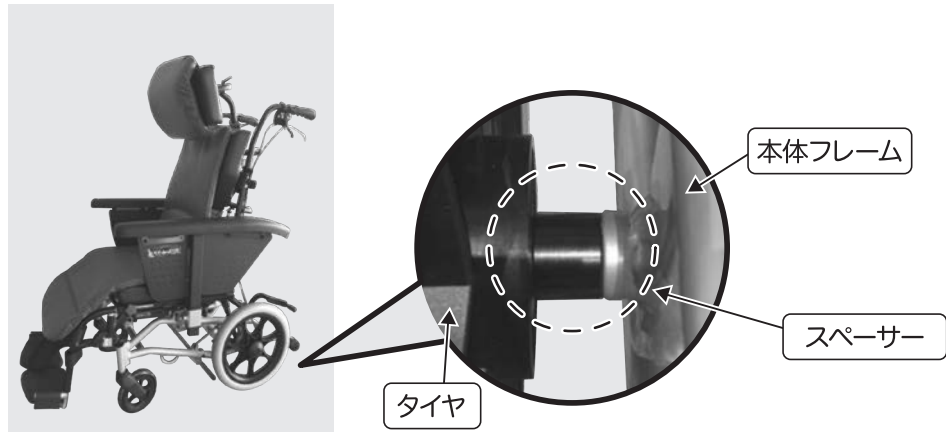
ワッシャー  ※ワッシャーの取り付け位置に注意してください。

9. 車いす本体を戻し、駐車ブレーキがスムーズに操作できることを確認してください。



ラクレスト用介助ブレーキ Bセット

本体フレームのタイヤ受け部がスペーサー付きのフレーム専用です。



【同梱内訳】

①	介助ブレーキセット	2セット
②	介助ブレーキ ドラム付きタイヤ	2本
③	取り付け用ブラケット	2個
④	ワッシャー	2個
⑤	結束バンド	4本

【ラクレスト用介助ブレーキ Bセット 組み立て方法】

介助ブレーキセットを本体フレームへ取り付けます。

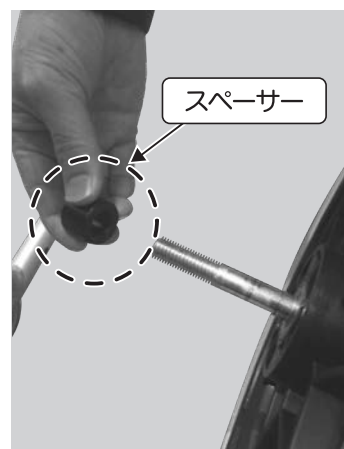
この作業は左右共通です。

1. キャップを反時計回り方向に回し、取り外します。

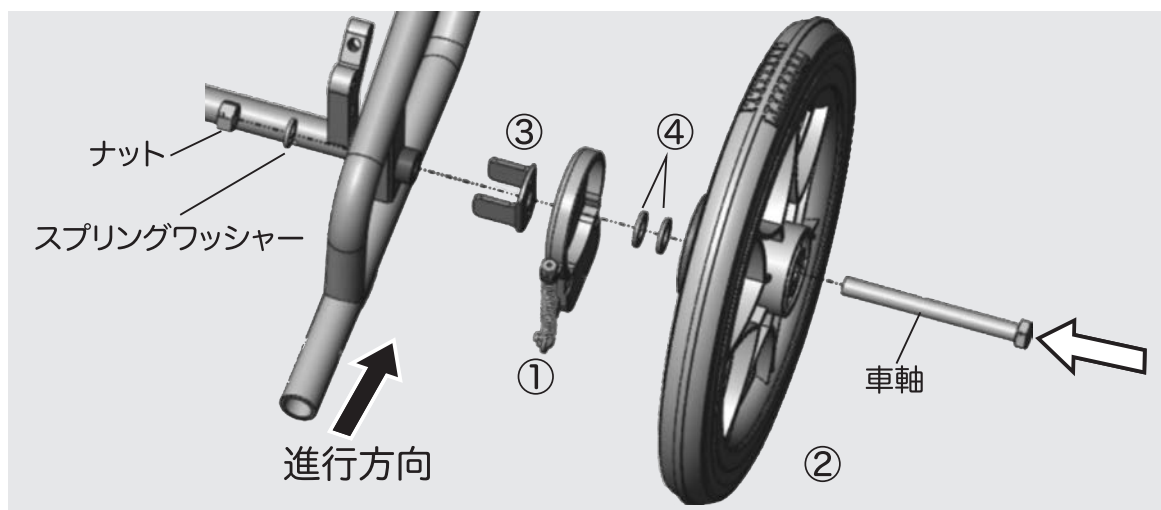


2. 車軸及びナットを緩め、タイヤを取り外し
スペーサーを取り除きます。

- 使用工具：19mmスパナ、ラチェットレンチなど



3. 下イラストのように構成部品を本体フレームへ仮組付けします。(下図は右側)



【同梱内訳】

①	介助ブレーキセット	2セット
②	介助ブレーキ ドラム付きタイヤ	2本
③	取り付け用ブラケット	2個
④	ワッシャー	2個

※車軸、ナット、スプリングワッシャー製品本体から取り外したものをそのまま使用します。

4. ボルト及びナットを締め付け固定します。

- 使用工具：19mmスパナ、ラチェットレンチなど
- 推奨締め付けトルク：25Nm



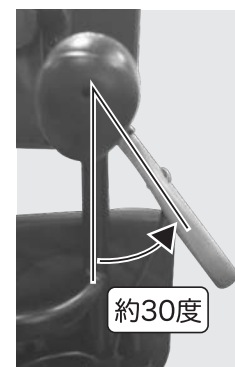
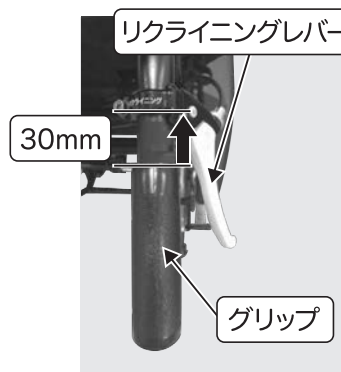
5. キャップを時計回り方向に回し、取り付けます。



6. 介助ハンドル右側のリクライニングレバー（グレー色）の位置を移動、再固定します。

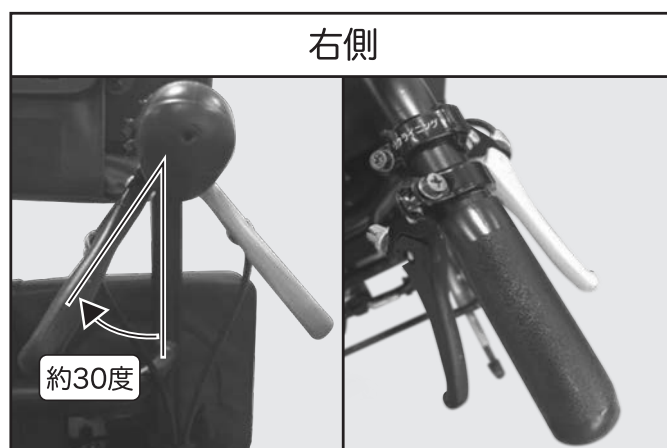
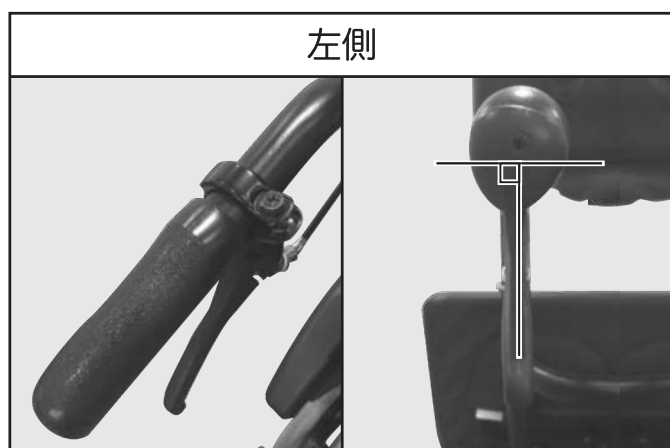
位置はグリップ前端から30mm、向きは後方から見て外側へ約30度とします。

- 使用工具：プラスドライバー



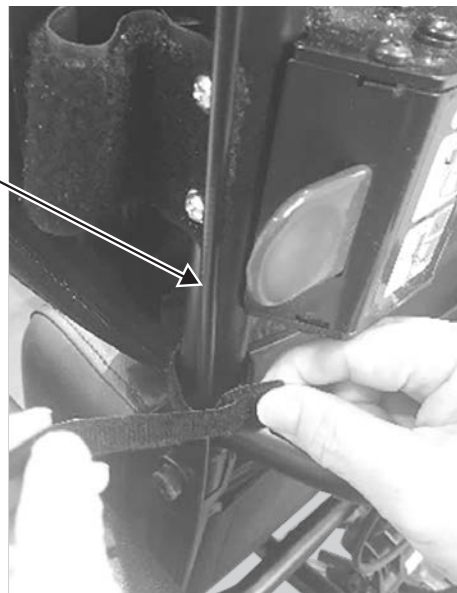
7. 介助ブレーキレバー（黒色）を本体フレームへ組付けします。

前後位置はグリップ前端に触れる程度、向きは後方から見て右側のブレーキレバーは内側へ約30度、左側のブレーキレバーは地面に対し直角とします。



8. 結束バンドを使いブレーキワイヤーを本体フレームに固定します。

ブレーキワイヤー



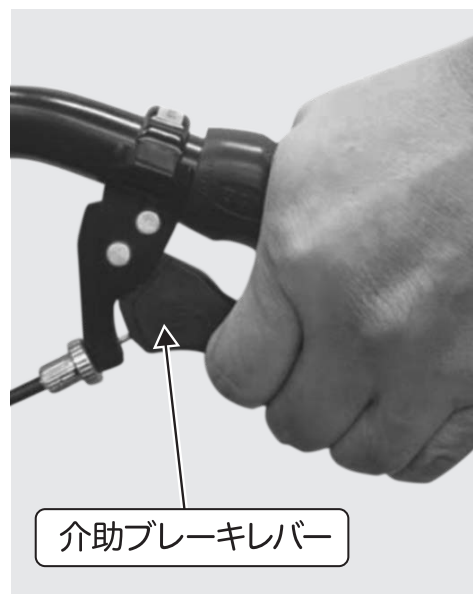
9. 製品本体を押しながら、介助ブレーキレバーを握り、左右の介助ブレーキが正常に動作することを確認してください。

※万が一、ブレーキの効きが不足している場合は、介助ブレーキレバー手元のダイヤルにより、調整が可能です。

(1) 固定ダイヤルを緩める。

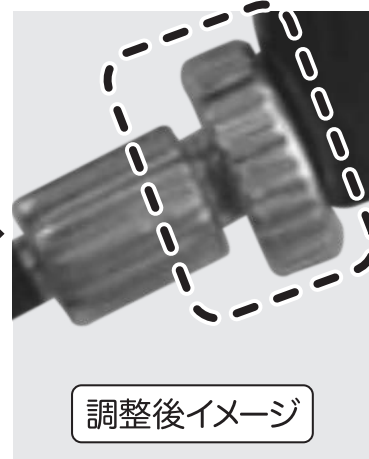
(2) 調整ダイヤルを緩めながら、介助ブレーキレバーの握りシロを確認する。

(3) ブレーキの効きを確認したら、固定ダイヤルをブレーキレバーブラケット側へ締め切り固定する。



ブレーキレバーブラケット

介助ブレーキレバー



ピジョンタヒラ株式会社

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-4
ピジョンビル

ピジョンタヒラ(代表)

TEL **03-3661-4371**

ピジョンタヒラホームページは
<http://www.pigeontahira.co.jp>